

平成 31 年 4 月 11 日

報道関係者 各位

四国大学／四国大学短期大学部
学長 松重 和美

“徳島の「当たり前」を「宝物」に～学生が創造する『行きたい徳島』”
徳島県の観光資源発掘とその活用についての共同調査研究会
による活動実践成果のご紹介

徳島大学・四国大学の両大学から留学生を含めた 41 名の学生が、県内各地で地域資源発掘のためのフィールドワークに取り組み、独自の視点で企画した観光プランを、県外の大学生や県内留学生がモニターツアーとして実際に体験し好評を得ました。

産業界のニーズに対応した人材の育成に取り組んできた徳島県産官学人材育成連携会議が、平成 28 年 10 月に「徳島県の観光資源発掘とその活用についての共同調査研究会」を発足。大学生の自由な発想と視点で徳島の持つ地域資源を発掘し、磨き、発信することにより新しい観光の在り方を考え、その参画過程において地域に貢献し地域創生に資する人材の育成をテーマに活動を開始しました。

平成 31 年 3 月までの 2 年半にわたって、学生らは積極的にフィールドワークを展開し、徳島を知り徳島への愛着を深め、徳島の魅力を体験しながら、自分たちの手で発掘した資源を盛り込んだ観光プランを創造。その取組の過程では、県内企業や団体、大学教職員、県内自治体の委員がメンターとなり、フィールドワークやモニターツアーでは地域の方々の温かい受け入れにより、まさに産官学と地域が一体となり観光をキーワードとした人材育成プログラムとなりました。

【活動の流れ】

調査研究の工程表作成
フィールドワークのための事前学習会
↓
学生フィールドワーク 県内5エリア
↓
8グループが
観光プランのプレゼンテーション発表会／評価
↓
上位入賞プランのモニターツアーに
県外大学生や県内留学生が参加
↓
モニターツアーの検証・総括協議



今後も、“地域創生に資する人材の育成”をテーマに、地域が抱える課題と向き合いその解決を目指し、徳島の魅力創出と発信に取り組んでいく予定です。まずは、この成果を地域に発信し、地域の皆様のご協力のもとさらに発展的な地域貢献プログラムにしたいと考えております。つきましては、報道各社の皆様方に、取材をご検討いただけましたら幸いです。ご多用中とは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

「徳島県の観光資源発掘とその活用についての共同調査研究会」座長
四国大学短期大学部 教授 加渡いづみ

<取材に関する問合せ先> 〒771-1192 徳島市応神町古川字戎子野 123-1
四国大学 大学広報戦略室 (担当：今出)
TEL: (088)665-9578 FAX: (088)665-9579